

山梨県立 Yamanashi Prefectural Archaeological Museum

考古博物館だより



HP ACCESS

No. 102

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

✕@yamanashi_kouko f @yamanashi.kouko1103

特別展

第43回

中部高地に芽生えた

水煙文土器とその周辺

Water-Smoke Motif

☑ 開催報告—企画展—

☑ 風土記の丘研修センター利用案内

☑ 次回イベント・展示

左上から時計回りに：曾根遺跡出土 井戸尻考古館蔵〔展示は複製品〕、阿久和宮腰遺跡出土 横浜市埋蔵文化財センター蔵、居沢尾根遺跡出土 原村教育委員会蔵、上野原遺跡出土 山梨県立考古博物館蔵、藤内遺跡出土 井戸尻考古館蔵、前原遺跡出土 あさぎ野市教育委員会蔵、曾根遺跡出土 南アルプス市教育委員会蔵、釈迦堂遺跡出土 釈迦堂遺跡博物館蔵〔重要文化財〕、荒神山遺跡出土 諏訪市博物館蔵、安道寺遺跡出土 山梨県立考古博物館蔵〔重要文化財〕

中部高地に芽生えた



◀石之坪遺跡出土
荊崎市教育委員会蔵

水煙文土器と



会期 2026 9.19(土) - 11.23(月祝) 9:00-17:00
入館は 16:30 まで

曾利遺跡出土 井戸尻考古館蔵 (展示は複製品) ▶

水 煙文土器は、渦巻く水煙を思わせる躍動感あふれる文様が特徴の土器です。山梨・長野を中心とした中部高地で数多く出土しており、その芸術性に富んだ造形から、近年国内外で高く評価されています。

大きさはさまざまで、子どもの背丈ほどもある巨大な個体も存在します。その特異な造形も相まって、縄文時代中期の優美な土器群の中でもひととき異彩を放っています。この有機的な渦巻の連続は突発的に生まれたものではなく、同時代の周辺地域で造られた多様な土器型式の影響を受けています。「水煙文」と対をなす「火焰型」土器をはじめ、一見すると造形的な類似点がないように見える型式まで、幅広い要素が取り込まれています。

本展では、大小さまざまな水煙文土器とともに、その造形にインスピレーションを与えた周辺地域の土器を一堂に集め、約5000年前にさかのぼる「水煙文」の秘密に迫ります。

I 山梨県の水煙文土器の世界

山梨県・長野県を中心とする中部高地では、縄文時代中期(約4,000~5,500年前)に豊かな縄文文化が花開き、数多くの優美な土器が生み出されました。その中でも、土器文化のクライマックスを象徴するのが水煙文土器です。個性豊かな縄文土器群の中にあっても、群を抜く存在感をもつ造形といえます。本章では、山梨県内の遺跡から出土した水煙文土器を取り上げ、その造形の変化と地域的な特徴を紹介します。



▲上野原遺跡出土
山梨県立考古博物館蔵



▲釈迦堂遺跡出土
釈迦堂遺跡博物館蔵
【重要文化財】

II 周辺地域の水煙文土器

水煙文土器は、山梨県のほか長野・東京・神奈川・静岡など周辺地域でも出土しています。その文様構成には地域ごとの特色があり、一口に水煙文土器といっても多様な個性が認められます。

本章では、周辺地域の水煙文土器にスポットを当て、造形の違いや分布の広がりを比較しながら紹介します。



▲藤内遺跡出土
井戸尻考古館蔵



▲荒神山遺跡出土
諏訪市博物館蔵



◀阿久和宮腰遺跡出土
横浜埋蔵文化財センター蔵

第43回 特別展

その周辺

📍会場：山梨県立考古博物館

山梨県甲府市下曾根町 923

[中央道甲府市南 IC から 1 分]

☎ 055-266-3881

Ⅲ

水煙文土器に影響を与えた土器

水煙文土器の多くは「井戸尻式土器」の要素を残しつつ「曾利式土器」に分類されます。曾利式土器はⅠ～Ⅴ式に区分され、時期ごとに文様の変化を段階的に追うことができる型式です。こうした造形の変遷には、大木式や三原田類型など、他地域の土器群からの影響が認められ、水煙文土器の特異なデザインもまた、その影響を受けて形成されたと考えられています。

本章では、水煙文土器が属する曾利期の土器に影響を及ぼした周辺地域の土器型式に注目し、その背景にある文化的交流を紹介します。

岩丹台遺跡出土▶
大田原市蔵



沼南遺跡出土
（公財）群馬県埋蔵文化財
調査事業団蔵



▲上木戸遺跡出土
長野県立歴史館蔵

／ 火焰型土器！ ／



沖ノ原遺跡出土▶
津南町教育委員会蔵
【津南町指定文化財】

Ⅳ

その他地域との関連性

水煙文土器の隆盛と同時期、周辺地域でも多彩な文様表現が生み出され、地域ごとの文化が形づくられていました。火焰型土器で知られる新潟（馬高式）をはじめ、長野（梨久保B式・焼町式）、栃木・群馬（大木式）など、各地で特徴的な土器型式が展開しています。

本章では、こうした個性豊かな土器を通して、地域性の違いと縄文文化の広がりを紹介します。

参加費
無料

関連イベント

！ワークショップ「土器ドキクッキー作り」
曾利式の土器をモチーフにしたクッキー作り！

要予約 9.21 月祝・9.22 火祝

【定員：両日とも午前・午後6名ずつ】

📍会場：風土記の丘研修センター

申込方法 8月21日（金）より電話にて申し込みを受け付けます【☎055-266-5286】。

！特別展観覧者対象「ギャラリートーク」

担当学芸員が特別展を解説します。
ご希望の日時にご来館ください【各日2回】。

予約不要 10.18 日・11.20 金

①10:00～②13:30～

📍会場：山梨県立考古博物館

※11/20 は山梨県民の日につき観覧無料です。

■観覧料

一般・大学生 600 (480) 円

小・中・高校生 無料
県内在住の65歳以上の方

※（ ）内は20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

■休館日

会期中の月曜日

※ただし、9/21・10/12・11/2・11/23 は開館

■主催

山梨県立考古博物館

■後援

朝日新聞甲府総局 / エフエム甲府 / エフエム富士 / 産経新聞甲府支局 / テレビ朝日甲府支局 / テレビ山梨 / 日本ネットワークサービス / 毎日新聞甲府支局 / 山梨新報社 / 山梨日日新聞社 / 山梨放送 / 読売新聞甲府支局 / 曾根丘陵公園指定管理者 富士観光開発・富士グリーンテックグループ

■協力

山梨県立考古博物館協会 / 縄文王国山梨実行委員会 / 甲信縄文文化発信・活性化協議会

参加無料
要予約

記念講演会

📍会場：風土記の丘研修センター

各回専門の講師を迎えて講演会を行います。

時間：13:30-15:00 [全3回]

第1回

9.20 日

今井 哲哉 氏（文化庁美術学芸課調査官）
「水煙文土器の魅力（仮）」

第2回

11.1 日

水沢 教子 氏（東北大学非常勤講師）
「大木式土器の南下と
中央高地の中期縄文土器」

第3回

11.15 日

櫛原 功一 氏（帝京大学文化財研究所教授）
「中部高地の水煙文土器（仮）」

申込方法

8月20日（木）よりホームページまたは電話【☎055-266-3881】にて申し込みを受け付けます。なお、オンライン配信は未定です。最新情報は随時ホームページでお知らせします。

春季企画展



高さ約85cm/
山梨が誇る巨大
水煙文土器☆



国重要文化財指定後、初のお披露目展

この春、甲州市安道寺遺跡の出土品を一堂に紹介する展示会を開催しました。今回の展示では、新たに国の重要文化財に指定された深鉢形土器（水煙文土器）および深鉢形土器把手等6点を中心に、同遺跡の豊富な出土資料を改めてご覧いただきました。

山梨の縄文土器の中でも際立った存在である大型の水煙文土器は、以前から高い注目を集めてきましたが、今回の重要文化財指定により、その造形美と学術的価値が改めて評価されました。本展では、安道寺遺跡を代表するこの土器の魅力を、より深く感じていただけたのではないのでしょうか。会場には水煙文土器のほか、土偶や顔面装飾、石器など多彩な資料が並び、来場者からはそのバリエーションの豊かさに驚きの声も寄せられました。

数多くの縄文遺跡を抱える山梨県の中でも、安道寺遺跡は規模の大きさだけでなく、出土品の質の高さにおいても特筆すべき遺跡です。今回の展示が、安道寺遺跡の価値と縄文文化の豊かさを再認識する機会となっていれば幸いです。

国重要文化財指定記念
甲州市安道寺遺跡
— 縄文時代の大きなムラ —

開催
報告





。学芸員のつぶやき ～令和8年度春季企画展を終えて～

令和8年4月25日から6月14日にかけて、春季企画展「甲州市安道寺遺跡」を開催し、5,264名の方々にお越しいただきました。この展示は令和7年9月に重要文化財に指定された安道寺遺跡出土資料6点のお披露目を兼ねて、そもそも安道寺遺跡とはどのような遺跡であったかを紹介いたしました。

安道寺遺跡について、重要文化財になった6点をはじめとした一部の資料は、考古マニア（縄文マニア？）の間ではとても有名かと思います。一方、それ以外は古い時期の発掘資料[1976年発掘、1978年発掘調査報告書（概報）刊行]ということもあって、考古学関係者の方々にもあまり知られていない資料が多くありました。

今回展示した中で、あまり知られていない資料のうち、担当者お気に入りの資料はこちらです。

○東北地方の文様をもつ縄文土器の把手

この資料は、東北地方の大木式に分類されている文様が確認できます。大木式そのものではなく、中部高地ナイズされていますが、間違いなく東北地方系統の文様をもっています。パッと見ると重要文化財に指定された水煙文土器に似ていますが、実は水煙文土器の一部は、この大木式の影響を強く受けていると考えられています。水煙文土器（重要文化財）が出土した遺跡でこうした土器が出土しているのは、東北地方との交流があった証だと考えられます。その意味で、この土器はとても大切な資料です。

なお、水煙文土器については、9月19日（土）から行われる第43回特別展のテーマとなっています。広域の交流によって生まれた水煙文土器を取り上げますので、秋の展示もご期待下さい。

【学芸課 柴田】



東北系統！

ガラス玉・勾玉：平林2号墳（当館蔵）
ヒスイ製大珠：左右 甲ッ原遺跡（北杜市教育委員会蔵）
中央 大月遺跡（当館蔵）



ヒスイを下から
ライティングが
あやしい輝き...

美しく涼やかな玉の世界

今夏の展示会テーマは「玉」。はるか昔から人々を魅了してきた貴重品であり、とりわけ素材の質と匠の技が問われる品です。玉類にはさまざまな形状がありますが、いずれも耐久性が高く美しい素材に孔を開け、研磨するなどの工程を経て加工されており、誰もが容易に手にできるものではありませんでした。そのため、玉類は身を飾るだけでなく、持つ人の地位や権威の象徴、あるいは魔除けや祈りの対象として大切に扱われてきました。

本展では、山梨県内の遺跡から発見された玉製品を一堂に集め、およそ1000点もの資料を展示しました。ひとつひとつは小さくとも、いずれも優れた加工技術の賜物であり、古代の人々がどれほど特別な思いを託していたかがうかがえます。会場では、縄文時代から古墳時代にかけて造られた玉製品を中心に紹介しましたが、装飾品としてだけではない、数千年の時を超えて受け継がれてきた玉類の奥深い魅力を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。

水晶・メノウの装身具：姥塚2号墳（当館蔵）

玉ものがたり
—古代からのメッセージ—
開催報告

夏季企画展

Q. どこにあるの？ どんなことができるの？

A. 所在地：山梨県甲府市下向山町1271

※考古博物館から車で約7分、歩いて約20分ほど離れたところにある施設ですので、ご利用の際にはご注意ください。

ご予約は風土記の丘研修センター ☎ 055-266-5286 へ



縄文土器野焼きの様子

風土記の丘研修センターでは、年間を通じてさまざまなものづくり教室を開催しています。教室には16歳以上の一般の方を対象とした「**原始古代の技に学ぶ**」と、小・中学生の親子を対象とした「**チャレンジ博物館**」とがあり、講師の指導のもと、土器や土偶、青銅器（錫と銅の合金）の製作をはじめとした、原始・古代にちなんだ多種多様なものづくりに挑戦することができます。



青銅器鑄込みの様子

また、こうした年間予定で決められた教室のほかに、少人数での申し込みも随時受け付けており、古代の火起こしや勾玉作り、青銅鏡作りなどの体験に個人グループでご参加いただけます（要予約・日程は応相談）。ぜひ当施設ならではのアクティビティをお楽しみください。

青銅鏡1作り体験



対象 | 小学校5年生以上（小・中学生は要保護者同伴）
時間 | 5～6時間程度（10時～16時頃 ※昼食時間含む）
費用 | 1枚8000円～20000円（種類によって変動）
【12月～4月は体験休止】

製作する鏡の種類は
ホームページで
ご確認ください。



古代の火起こし

未就学児は
応相談

対象 | 小学生以上
（小学3年生以下は要保護者同伴）
時間 | 40分程度
費用 | 無料



勾玉1作り体験

未就学児は
応相談

対象 | 小学生以上
（小学3年生以下は要保護者同伴）
時間 | 90分程度
費用 | 1個400円



トンボ玉作り体験

1人3個まで



対象 | 小学生以上（小学3年生以下は要保護者同伴）
時間 | 60分程度（人数・個数により変動）
費用 | 1個500円～（種類によって異なります）

諸注意

- 体験希望日の1週間以上前に風土記の丘研修センターへご予約ください【青銅鏡のみ1か月以上前まで】。
- 体験は考古博物館を見学された方に限らせていただきます。
- すべての体験は1名から対応します【年齢による】。

※2026年7月現在の情報です。体験内容や価格に変更になる場合がありますので、ご予約の際には最新情報をご確認ください。

Next Events

2026



本格派!?
狩猟体験

10月
October

18日[日]

参加費無料・一部数量限定

秋のふれあいまつり

山梨県立曽根丘陵公園・風土記の丘研修センター
自然素材のクラフト体験や、古代の狩猟・遊びをモチーフにしたアトラクション、かわいい動物たちとのふれあいなど、子どもから大人まで楽しめる体験イベントを楽しみましょう！



モフモフ体験!?
いちいちどうぶつ村

※どうぶつむらイメージ

11月
November

7日[土]

参加費無料・要予約

古代と自然を楽しむ日

山梨県立曽根丘陵公園・山梨県立考古博物館
曽根丘陵公園を樹木&遺跡の専門家と共にめぐる秋の歴史散歩です。いつもとは違う視点から古代と自然を再発見しに行きませんか？

ご予約・お問合せ先
山梨県曽根丘陵公園 055-266-5854(10/7～受付)

20日[金]

参加費無料・一部数量限定

県民の日イベント

山梨県立考古博物館
山梨県民の日であるこの日は大人も子どもも入館無料！ 特別展「中部高地に芽生えた水煙文土器とその周辺」にちなんださまざまな体験イベントをお楽しみください！

入館無料
DAY!

水煙文土器!!



参加者限定!

オリジナルパズル
プレゼント

※イメージ

1月
January

2日[土]・3日[日]

考古博 de お正月

山梨県立考古博物館

参加費無料・一部数量限定

オリジナルの『どぐたこ(土偶風)』作り体験やおみくじ・お年玉など、考古博にちなんだささやかなお正月遊びを通して新年を祝いましょう！

※お年玉イメージ

11日[月祝]

古代米でもちつき大会

山梨県立曽根丘陵公園・風土記の丘研修センター

参加費無料・数量限定

古代米といわれる「黒米」をまぜたお餅を昔ながらの竝杵(たてぎね)でつくもちつき体験です。黒米餅の試食もあります！(試食は数量限定)

竝杵で
もちつき!



2027

新年干支展「未一ひつじ」 1/2-24 新年の干支にちなんだミニ展示を開催予定！ 考古博物館エントランスホール

Next Exhibition

1/30-2/21

山梨県立考古博物館

✓第24回わたしたちの研究室・研究成果展示会

1/30-4/4

風土記の丘研修センター

✓風土記の丘望見展

観覧
無料

7日[日]

考古博 de 春まつり

山梨県立考古博物館

参加費無料・一部数量限定

原始・古代にちなんださまざまな体験イベントをお楽しみください！

3月
March

入館無料
DAY!

おうほしやせんいん さんかしよう
応募者全員に参加賞あります★

第24回

けんきゆうせいいかだいほしかう
研究成果大募集！

けんきゆうしつ わたしたちの研究室

オリジナル
クリアホルダー
さんかしようれい
参加賞例



Q. 『わたしたちの研究室』 ってなあに？

A. しょう ちゅうがくせい なつやす がっこう そうごうてき がくしゅう じかん
小・中学生のみなさんが、夏休みや学校の総合的な学習の時間などにまとめた歴史や
こうこがく かん がくしゅう けんきゆうせいいか ぼしゆう じゅうけんきゆう
考古学に関する学習・研究成果を募集する自由研究コンクールです。

ほしかう
募集
種別

こじんけんきゆうぶもん しょうがっこう ぶ ちゅうがっこう ぶ
個人研究部門（小学校の部・中学校の部）
だんたいけんきゆうぶもん
団体研究部門

ほしかう
募集
期間

令和8年
9月1日 火～11月8日 日

けいしき
形式

さくひん けいしき じかう
作品の形式は自由です！
もそうし どうが りったいさくひん
【模造紙・レポート・動画・立体作品など】

すいしゅうしやうしやう やまなしけんしやうしやう けいしき せきひん ぶもん
※最優秀賞（山梨県知事賞）ほか、優秀な作品は部門
ごとに各種表彰します。
しょう おう しょうじやう ふくしやう じま
賞に応じて賞状・副賞の授与あり★

専用ページは
コチラ

とあ
問い合わせ
しつもん さんだん
質問・相談

やま なし けん りつ こう こ ほう ぶつ かん がく げい か
山梨県立考古博物館・学芸課 TEL055-266-3881



※作品は別途配布中のチラシの応募用紙とともに、郵送もしくは直接考古博物館へお持ちください。
※応募用紙は考古博物館のホームページからもダウンロードできます。また、作品の持参が難しい場合はご相談ください。

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 開館時間 9時～17時
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882 【入館は16時30分まで】

風土記の丘研修センター 開館時間
TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287 8時30分～17時

観覧料 <常設展>	休館日
一般・大学生 220(170)円	毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
高校生以下 無料	祝・祭日の翌日（土・日・祝は除く）
65歳以上の方 無料（要証明書） 〈特別展の場合は県内在住の方のみ無料〉	年末年始（12月29日～1月1日） 風土記の丘研修センターは1月3日まで休館

※（ ）内は20名以上の団体料金
障がい者手帳をお持ちの方と
付き添いの方1名無料
山梨県民の日（11月20日）無料

令和6年度臨時休館
9月12日（土）～18日（金）
11月24日（火）～30日（月）
令和9年1月12日（火）～17日（日）
※展示会準備・撤収・館内整備のため

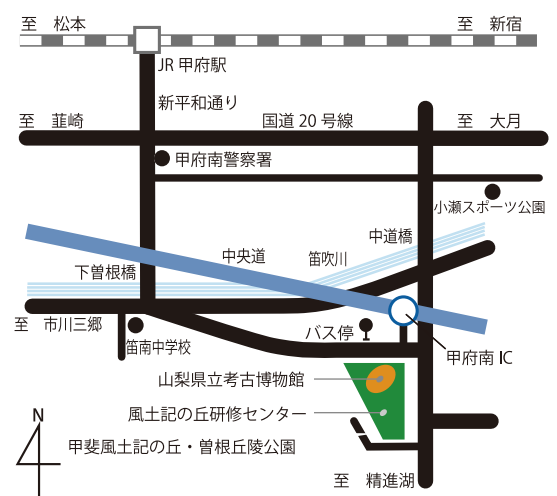
考古博物館定期観覧券【1年間当館の常設展と特別展を何回でも観覧可】
一般・大学生 1,360円

ミュージアム甲斐 in 券【4館共通定期観覧券（年間パスポート券）】
※当館・県立博物館・県立美術館・県立文学館の4館で1年間有効。
一般 5,240円 大学生 2,620円

交通
アクセス

路線バスの利用◆JR甲府駅より量富行（中道橋経由）「県立考古博物館」下車
自家用車の利用◆中央自動車道甲府南ICより1分（インター正面）

学校（団体）の利用について
教育課程（小・中学校、高等学校、特別支援学校）で入館される場合は事前に見学の申し込みをお願いいたします。
見学時間を十分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
できるだけ下見をし、担当職員と打ち合わせをしてください。
学校見学の申し込みと問い合わせ先：風土記の丘研修センター



発行日 令和8年8月7日
発行所 山梨県立考古博物館
住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
電話 055-266-3881
印刷 株式会社 映南堂印刷所

今年は春の企画展から始まり、秋の特別展に至るまでまさに「水煙文土器まつり」です。安道寺遺跡の逸品が新たに重要文化財に指定されたことで、これまで以上にその類まれな造形美に注目が集まり、県内外の水煙文土器が一堂に集まる運びとなりました。縄文土器の中でも異彩を放つ特別な土器たちの競演を、どうぞお見逃しなく！（あ）。